

「ストラディヴァリアは私たちの期待や予想以上のものを見せてくれる。  
それは音楽のさらにその上を行く音楽だ。

私たちは自身の感性を大きく開き、その上を自由に歩くことになる」

(ジェラルド・アブリアル)

## バロック・アンサンブル ストラディヴァリア

### STRADIVARIA - Ensemble Baroque De NANTES

バロック・ヴァイオリンの名匠、そしてパリ国立高等音楽院でも教授を務めたダニエル・キュイエが、1987年に結成したナント市を拠点とするバロックアンサンブル。17～18世紀の楽曲をその長い歴史や遺産価値に重きを置いて活動を続けている。作品が生まれた当時の演奏スタイル、楽器、フレージングを用いたことによる、豊かで広く、柔らかいそのサウンドは、楽曲の流れに多彩なハーモニーを生み出しており、多くの舞台で賞賛を受けている。フランス国内のバロック音楽祭、パリのシテ・ドゥ・ラ・ミュージック、そしてラ・フォル・ジュルネで高い評価を得ている。日本では新・福岡古楽音楽祭や東京でのラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(熱狂の日)音楽祭に出演している。

録音でもフランス内外の評論家から高く評価されている。なかでもバッハの『チェンバロ協奏曲』はフランスの専門誌クラシカで「2009年衝撃の1枚」と評され、イギリスのグラモフォン誌でも「クリティクス・チョイス」に選ばれた。



ダニエル・キュイエ  
ヴァイオリン  
ストラディヴァリア音楽監督

Daniel Cuiller, Violin

幼少期よりヴァイオリンをはじめ、音楽の才能を発揮する。指揮者ウィリアム・クリスティが率いるバロック・アンサンブル「レ・ザール・フロリサン」の第1ヴァイオリン奏者を1986年まで務め、翌年1987年にストラディヴァリアを創立。この団体をフランス随一のバロック・アンサンブルに育て上げ、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭ほか、ヨーロッパを中心に活発な演奏活動を行っている。

2006年にはモンリオールのアリオン・アンサンブルのリーダーとしてジャン＝フェリルベルによるバレエ作品を指揮し、オーパス賞を授与される。ストラディヴァリアの20周年を記念して作曲家F. ルベル(1701-1775)とF. フランクール(1698-1787)による叙情悲劇「ピラムとティスベ」の手稿改訂を手掛ける一方、アンジェ＝ナント・オペラシリーズの指揮者も務めるなどその活動は多岐に渡る。また作曲家アンリ・マダン(1698-1748)による作品「テ・デウム」(1742年)を発掘・改訂し、ヴェルサイユ宮殿のロイヤル・チャペルにて演奏・ライブ録音を収録し、高く評価されている。

教育面でも活躍し、1992年から2002年までパリ国立高等音楽学校にてバロック・ヴァイオリンの講師を務めたほか、欧州はもとよりアジア、アメリカでもバロック・アンサンブルの指揮者・指導者として招聘されている。



マリオン・マルティノ チェロ Marion Martineau, Cello

1982年生まれ。パリ音楽院にてロラン・ピドゥに師事し、審査員満場一致の首席で卒業。その後2008年から2011年にかけて同音楽院のC. コワンによるヴィオラ・ダ・ガンバのクラスにて最高位を授与される。フランス放送フィルハーモニー管弦楽団へ度々招待され演奏しているほか、レ・タラン・リリク、ストラディヴァリアやル・コンセル・ダストレといったバロック・アンサンブルとも共演を重ねている。ヴィオラ・ダ・ガンバでも、ヴィオール・アンサンブル「シット・ファスト」に参加するほか、酒井淳氏と共にバス・ヴィオールのデュオを組んでおり、17～18世紀の作品から現代曲まで幅広いレパートリーを手掛けている。



酒井 淳 チェロ Atsushi Sakai, Cello

1975年、名古屋生まれ。1986年に渡米。H. シャピロ氏に師事した後、パリ国立高等音楽院でP. ミュレル氏に師事し首席で卒業。また、同音楽院在学中バロック・チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバを並行してC. コワン氏にも師事する。多数のアンサンブルに招かれ、CD録音にも参加しているほか、自身が主宰したガンバ・コンソートや弦楽四重奏団でも精力的に活動している。

室内楽奏者及びソリストとして、C. ルセ、V. デュメストル、バルトーク弦楽四重奏団などと共演。欧州の著名な会場に出演の他、ポツダム・サンズン音楽祭などにも招かれている。ソリストとしてブラハ室内管や、ベルリン・ドイツ響(ハスス・ロベス＝コボス指揮)と共演。2015年にはフランスのアパルテ・レーベルよりヴィオラ・ダ・ガンバ作品のCDをリリースし、朝日新聞紙上に「豪壮で憂鬱濃く、魔性と情念渦巻く世界へ」との評が掲載された。現在、桐朋学園大学特任教授。



ジョセリーヌ・キュイエ チェンバロ  
Jocelyne Cuiller, Harpsichord

夫君であるダニエル・キュイエとともに、ストラディヴァリアを創設。通奏低音のみならず、協奏曲のソリストとしても演奏、録音を行い、栄誉あるフランスの「ディアパソン・ドール」他数々のレコード賞を受賞している。特にC.P.E. バッハやフランスのバロック音楽の演奏のスペシャリストとして知られている。

演奏活動のほか、教育にも尽力し、フランス・ナント地方音楽院でチェンバロ科と通奏低音科の講師を25年に渡って務め、数々の優秀な演奏家を輩出している。

くらしの中にクラシック

  
宗次ホール  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00～18:00  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

## 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

## 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅⑫ 番出口より東へ徒歩4分

